



旧見付学校だより vol. 141

令和3年9月1日

新型コロナウイルス対策で静岡県にも緊急事態宣言が出されています。旧見付学校では館内の消毒作業を徹底するとともに、来館者の皆様にも検温と手指消毒をお願いして感染対策に取り組んでいます。安心して見学ができる時が少しでも早く来ることを願ってやみません。

運動会の歴史から

運動会のルーツを探ると日本最初の運動会は、明治7年3月21日海軍兵学校で行われた競闘遊戯会で、徒競走や二人三脚、幅跳びや高跳びなどの種目がありました。継続的な運動会として全国的に普及するきっかけになったのは明治11年6月1日に札幌農学校で開催された遊技会であると考えられています。明治29年には、初代文部大臣森有礼が文部省令を発しました。森文部大臣は、体育教育に有効と判断し、全国の小中学校で運動会を開催するように訓令しました。見付学校では、明治24年9月22日に塔之壇に運動場が開場した記念として開かれたとありますので、森有礼の明治29年の訓令より早く行われていたこととなります。



昭和の終わりごろから平成のはじめごろ、静岡県西部地区では他の地域に見られない種目が行われていました。それは「城落とし」です。ご存知でしょうか。チームに分かれ、相手の城（張りぼて）めがけて球を投げ合います。城の中には薬品を入れた仕掛けがあり、球の当たった衝撃で薬品が調合されて煙が発生します。煙が上がると城は「落城で負け」です。写真のように、調合の熱で城の張りぼてが燃えてしまうハプニングもあったと聞きます。今では、ほとんど行われていませんね。



「かすりの着物を着て写真撮影&町並散策」受付中！

◆10月31日(日)午後1時30分～
かすりの着物を着て、見付地区内の散策コースを巡りながら好きな場所で写真撮影を楽しむイベントです。対象は幼児から小学生まで。申込方法は、広報いわた8月号をご覧ください。

